

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/2/20）

#.3

Name:	まーちゃん	Age:	14歳	■投与開始時の BUN/CRE	>140 / 7.7
■薬剤名	エスポー		■投与時猫体重	2.9kg	

■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） PCV／HCT の変化
2006.04.26～2006.06.20（週 1 回／0.5ml） 18.0%→35%
2006.08.01～2006.08.29（週 1 回／0.5ml） 24.8%→28%
■抗体について：
抗体が出来なかった
■他の貧血対策：
ペットチニック 0.5ml/日馬肉やレバーふりかけを少々ごはんに入れて

■飼い主さんの感想

最後は検査出来なかったんですが、28%までは上がっています（他の病院で調べた時は31%）。

まーちゃんの場合、1ヵ月半置いて再度エスポーを打ったんですが、その時は抗体は出来ていませんでした。まーちゃんは週に1回しか打たないで数値を上げて来ましたが、使用開始時の数値が比較的高かったため、その分回数も少なめで済んだようにいます。

ワンクールで回数打って数値を上げるよりも、下がりきる前の（数値が）時点で打ってしまうことと、間隔を空ければある程度継続しての使用も出来るのではないかと思います。

まーちゃんの場合は18%と24%という比較的下がりきってない数値で打ってきたので週1の投与でも数値が上がったのではないかな？とも思います。

《じいや補足》

まーちゃんは発覚してから3ヶ月、BUNが140を越えていました。その後何ヶ月にも渡ってまーちゃんが素晴らしいファイトを見せてくれたことが貧血を解消したと繋がるのかはわかりませんが、とくに2回目は早めに対処。長い期間をかけずに貧血の数値をある程度戻しています。

2006年8月から、24%という数字で即座に対応したまーちゃんの例が、じいやがEPOのことを考える最初のきっかけとなったと思います。